



意外に難しい地曳網

早くも第2回のニュースレターです。お天気が心配でしたが、調査時は天候に恵まれました。

地曳網は単純に見えますが、ちゃんと網が開いているか、どこに向かって曳いていくか、など考えながら実施しています。上手く曳けないと魚がいても網に入りません…

梅雨晴れの干潟でみられた生き物を紹介します！

今月のおさかな



まさかのトラフグ登場

今回の地曳網では、おなじみのビリング、マハゼ、エドハゼに加え、マルタ、スズキ（セイゴ）、サッパなど遊泳魚の姿も見られました。一方、春に大量にとれたシラタエビやアミはほぼ入りませんでした。

今回の注目は、私たちの多摩川調査では初のトラフグの稚魚です！すでに特徴的な模様がみられます。東京湾では近年自治体が増殖に取り組んでいることもあり、あちこちで出現しているようです。

今月の人気者



コアジサシ

今回人気だったのはコアジサシです。

夏になると飛来して日本で子育てをするコアジサシ。ホバリングという飛び方で空中に留まって狙いを定め、小魚を捕まえます！今回は何羽ものコアジサシが水面に飛び込む姿がみられました！